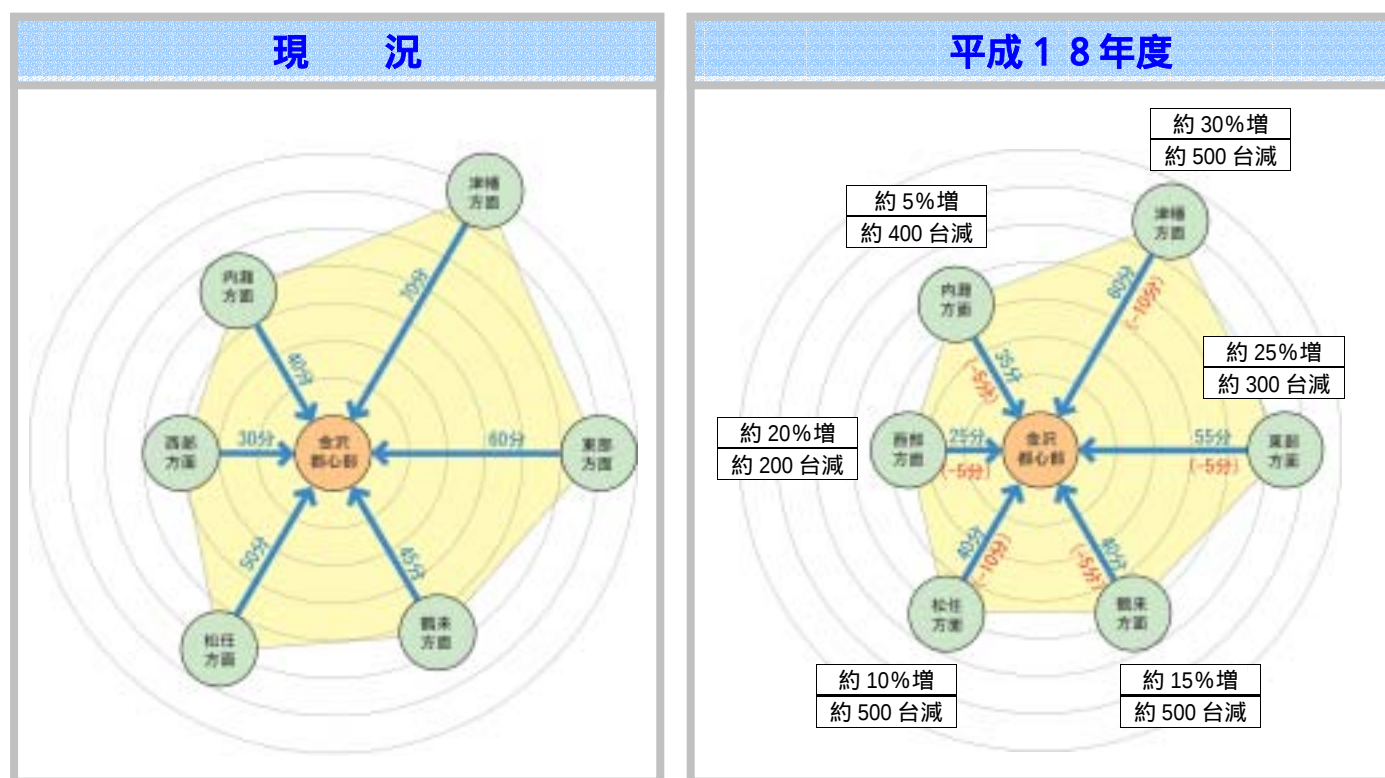


3. 金沢都市圏における交通改善目標

- ・ 渋滞の解消・緩和を図るための交通施策の実施により、経済活動の効率化、都市圏の活力向上、交通に起因する環境負荷の低減等を図り、豊かで暮らしよい地域の実現を体感してもらうため、**交通改善の達成目標として方面別の所要時間を掲げる。**
- ・ バスについても、同等以上の効果発現を目指す。
- ・ また交通改善の目標を達成するため、以下の2指標を施策目標とし、計画期間内における総合的かつ効果的な施策を方面別に構築する。
 - 外・中・内環状道路や放射幹線道路等の整備による**交通容量の拡大率**
 - TDM施策やマルチモーダル施策の実施による**ピーク時交通の削減**



交通容量拡大施策（ハード）、TDM施策・マルチモーダル施策（ソフト）の選択・実行

図 交通改善のための方面別の達成目標（所要時間）及び施策目標

< 施策目標の凡例 >

容量拡大率
ピーク時交通の削減台数

方面	津幡方面→都心方向
達成目標	・朝ピーク時において、津幡町役場から金沢市役所までの所要時間を約 70 分から約 60 分へ 10 分短縮する。
施策目標	交通容量を約 30% 拡大。 ピーク時自動車交通量を約 500 台削減、 または公共交通機関に約 600 人転換。
代表的な渋滞箇所	百坂北交差点

方面	内灘方面→都心方向
達成目標	朝ピーク時において、内灘町役場から金沢市役所までの所要時間を約 40 分から約 35 分へ 5 分短縮する。
施策目標	交通容量を約 5% 拡大。 ピーク時自動車交通量を約 400 台削減、 または公共交通機関に約 480 人転換。
代表的な渋滞箇所	近岡交差点

方面	西部方面→都心方向
達成目標	・朝ピーク時において、海浜公園口交差点から金沢市役所までの所要時間を約 30 分から約 25 分へ 5 分短縮する。
施策目標	交通容量を約 20% 拡大。 ピーク時自動車交通量を約 200 台削減、 または公共交通機関に約 240 人転換。
代表的な渋滞箇所	中橋交差点

方面	松任方面→都心方向
達成目標	・朝ピーク時において、松任駅前交差点から金沢市役所までの所要時間を約 50 分から約 40 分へ 10 分短縮する。
施策目標	交通容量を約 10% 拡大。 ピーク時自動車交通量を約 500 台削減、 または公共交通機関に約 600 人転換。
代表的な渋滞箇所	野町広小路交差点

方面	鶴来方面→都心方向
達成目標	・朝ピーク時において、鶴来町役場から金沢市役所までの所要時間を約 45 分から約 40 分へ 5 分短縮する。
施策目標	交通容量を約 15% 拡大。 ピーク時自動車交通量を約 500 台削減、 または公共交通機関に約 600 人転換。
代表的な渋滞箇所	窪交差点

方面	東部方面→都心方向
達成目標	朝ピーク時において、芝原交差点から金沢市役所までの所要時間を約 60 分から約 55 分へ 5 分短縮する。
施策目標	交通容量を約 25% 拡大。 ピーク時自動車交通量を約 300 台削減、 または公共交通機関に約 360 人転換。
代表的な渋滞箇所	寺町 1 丁目交差点

方面	金沢副都心	
施策目標	・バスサービスレベルの強化により、公共交通への転換利用を促進。 ・自動車によるアクセス交通量を分散・低減し、現況の所要時間を確保。	
	【課題】 ・新県庁周辺の開発に伴う交通量の増加により、道路混雑の発生が懸念 ・現都心から副都心へのアクセスに関するバスサービスレベルが不十分であり、公共交通によるアクセス性の向上が必要	【目標】 ・時差出勤の導入による増加交通量の平準化を行い、交通負荷の低減を図る。 ・シティライナー(仮称)の運行等、バス路線網の再編や運行本数の増加、新規バス路線の整備などにより、バス利便の向上を図る。 ・交差点改良、バス専用レーン、P T P S の導入により、バスの走行性を高める。

方面	降積雪時（全方面）	
施策目標	・路肩及び車線の積雪の迅速な除排雪。 ・迅速かつ的確な情報提供による公共交通への転換利用を促進。	
	【現状】 ・路肩の堆雪による車線の減少により渋滞が発生 ・公共交通の定時性の喪失 ・スリップ事故や立ち往生等に起因する交通渋滞の発生 ・積雪による歩道空間の減少	【目標】 ・バス専用レーン、交差点・橋梁等における消雪パイプの整備促進により、安全かつ円滑な道路交通の向上を図る。 ・交通結節点やバス停への歩行アクセス路の除排雪・消融雪を推進する。 ・携帯端末等の IT 機器を活用し、迅速かつ正確な情報提供を行い、公共交通への利用転換を図る。 ・地域と一体となった歩道除雪体制を確立し、歩行者空間を確保する